

これからの大切畑地区の在り方を考える取り組み

◇集落の現状と、20年後の大切畑地区について



記録集・リーフレット報告後、これからの大切畑地区の在り方を考えるための話し合いを行いました。

今年度は女性陣の方々にバトンタッチし、「集落の現状(どれくらいの方が戻ってくるのか)」、「20年後の大切畑(どれくらいの方が残っているか)」を確認しました。そのうえで、20年後も集落を維持し続けていくために、どういったことができそうかについて話し合いました。

「大切畑盛り上げ隊」の結成や、得意の手芸や料理をふるまう場の設置など、今後の活動に向けた活発な意見が出されました。

新しい集会所で子ども食堂とかは？

大切畑盛り上げ隊を結成してはどうか？

地域づくり委員の賛助会員に、外の人も入れてみてはどう？



◇熊本県立大学柴田先生による講演会



7月8日(月)に、熊本県立大学の柴田先生をお招きし、「復興から地域づくりへ～住み継がれる集落をつくる～」と題した講演会を開催いたしました。

柴田先生からは、県内他地域における復興に向けた取り組みの紹介や、「復興に向けた活動は頑張り過ぎないこと」等のアドバイスをいただきました。また講演後、地域の方々との意見交換も行われました。「震災後走り続けてきたが、これからどうすべきか」という質問については「歩くべき。走る必要はないが、止まってはいけない。」というように、活動し続けていくことの大切さを教えていただきました。

◇どういった大切畑でありたいかについて



これまでの話し合いや講演会を踏まえて、8月5日(月)に、「これからどういった大切畑でありたいか」という点と、「その実現のために具体的に何ができそうか」について、話し合いを行いました。

地区のいいところ、改善すべきところ、などについて意見を出し合い、現状を見つめ直すことができました。そのうえで、今後集落の維持のためには「外からの人の呼び込み」というのが一つのキーワードとして浮かび上がってきたので、「誰を対象として」「何を目的として」人を呼ぶのかなど、一歩踏み込んだ話し合いを次回以降、引き続き行っていきます。

今年も9月に道路品評会が行われます。それに先立ち、9月15日(日)8:00から、道路の草刈り・清掃活動を実施します。皆様ご参加の程、よろしくお願いいたします！

道路品評会のお知らせ

大切畑再生だより

【地区別版】第6号 令和元年9月発行

大切畑再生だより第6号では、記録集・リーフレットのお披露目会の様子や、今後の大切畑地区を考える会議のほか、熊本県立大学柴田先生による講演会の様子などをご紹介します。どうぞご覧ください。

記録集・リーフレットが完成しました。

6月27日(木)、みんなの家にて、記録集・リーフレットのお披露目会をしました。作成にご協力いただいた皆様、ありがとうございました！！



編集委員から坂田区長への記録集・リーフレット完成のご報告(左)とお披露目会(右)

記録集・リーフレットのご紹介

◇記録集



『奇跡の集落』と呼ばれた大切畑地区。あの日何が起こり、その後どのように復興に向かっているのかをとりまとめた「集落編」と、地域の方々の当時の思いをとりまとめた「個人編」から構成されます。

◇リーフレット



多くの人に大切畑地区を知ってもらい、興味をもってもらうため、暮らしの紹介や集落の催事などをとりまとめました。

記録集・リーフレットの予備を置いています！

新しい集会所(みんなの家)ができるまで、記録集・リーフレットの予備を町役場に置いています。ぜひお手に取ってご覧ください。